

2017年4月号の月刊美術 21、40pに
『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました

未来の人気作家、その最前線

京橋
4月

愛知県立芸術大学日本画専攻若手特集 第一弾
岩田明子・井藤由加里・平林拳 三人展

4月22日(土)～28日(金) 休水 12:30～19:00 / 最終日～16:00

第二弾

八田ゆかり・安田渉 二人展

4月29日(土・祝)～5月5日(金・祝) 休水 12:30～19:00 / 最終日～16:00

銀座かわうそ画廊

東京都中央区京橋3-6-21 十合ビル3F
☎03(3535)3931
<http://kawausogarou.com>

【出品作家】

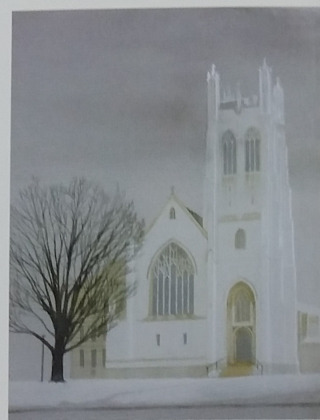
いわた・あきこ
1988年愛知県生まれ。2013年愛知県立芸術大学卒業。現在同大学院博士後期課程2年在籍。

いとう・ゆかり

1994年愛知県生まれ。2013年東邦高校美術科卒業。現在、愛知県立芸術大学に在籍。

ひらばやし・けん

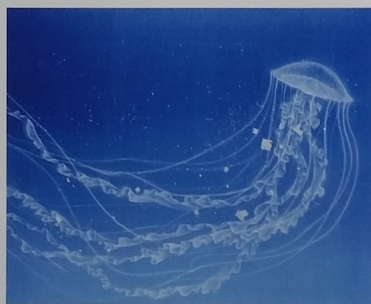
愛知県生まれ。現在、愛知県立芸術大学に在籍。2017年4月より同大学院修士課程へ進学予定。



岩田明子 《曇天》 10F 絹本彩色



八田ゆかり 《憶う》 4F 紙本彩色



井藤由加里 《Invitation》 4F 絹本彩色



平林拳 《白》 3F 紙本彩色



安田渉 《庭にワニ》 3F 紙本彩色

【出品作家】

はった・ゆかり
2016年愛知県芸術大学卒業。現在、中高一貫校の美術教師として教鞭をとる。

やすだ・わたる

2017年愛知県芸大大学院修士課程修了予定。

今展はその最前線に位置する未来の人気作家を紹介。
第一弾では光を意識した風景の岩田明子、水中に漂うクラゲを描く井藤由加里、人物画を得意とする平林拳の三人がそれぞれ異なったモチーフで競演する。第二弾は紙本らしい落ち着いたトーンの人物や動物を描く八田ゆかりと動物たちをやや人間的に描く安田渉の二人展。若い才能のフレッシュな作品に触れて欲しい。

新人と若手作家を積極的に紹介する銀座かわうそ画廊がこの春二週にわたって特集するのは、愛知県立芸術大学の日本画専攻出身の5作家。愛知県芸の日本画専攻といえば、初代日本画教授の片岡球子氏以来、伝統にもとつきながらも革新的な表現で活躍する画家を多数輩出してきた。

期待の新鋭

2017年4月号の月刊美術 21、40p に
『銀座かわうそ画廊』を掲載いただきました

花と人物に春を感じて

はなの日 山梨千果子 日本画展

4月1日(土)～7日(金) 休水 12:30～19:00 / 最終日～16:00

京橋
4月

春展
NAVI

銀座かわうそ画廊

東京都中央区京橋3-6-21
十合ビル3F
☎03(3535)3931
<http://kawasogorou.com>



やまなし・ちかこ
2007年尾道大学大学院日本画修士課程修了。第62回春の院展初入選、以降入選多数。09年再興第94回院展初入選、以降入選多数。16年第4回郷さくら美術館桜花賞展（郷さくら美術館／東京）。現在、日本美術院院友。



《ハレノヒ》 24.2×33.3cm 岩絵具、膠、麻紙



《吹く風》 31.8×41cm 岩絵具、膠、麻紙

小枝の下でたたくむ少女や花束を手にした女性など、花のある人物をテーマに制作を続ける若き日本画家の東京初個展。
「はなの日」と題して、道端に生える小さな草花に着目しながら、そう

した植物と共鳴するような人々のさりげない表情を描いた新作を発表。「日常で通りすぎる瞬間のような、人物たちと春の花々に囲まれた空間にしたい」と画家。会場で春を感じる展覧会になりそうだ。

日本画